



Hamanako ふれす

(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューロー広報紙『Hamanakoふれす』

出世城浜松から羽ばたいた、徳川家康公

徳川家康公が29歳から45歳の17年間在城し、戦国大名として多くのことを経験し学び後に天下統一を果たしました。その後、家康公ゆかりの譜代大名が代々城主を勤め、老中などに栄進した人が多いことから「出世城」と呼ばれています。



vol. 09

2022 SUMMER

CONTENTS

- P2 新任のごあいさつ
- P3 家康プロジェクト推進協議会について
大河ドラマ館
- P4,5 対談企画 Wave～波起こし人～
- P6,7 事業報告
- P8 お知らせ

来年は徳川家康公が主人公の大河ドラマ「どうする家康」(NHK)が放送予定です。浜松も舞台の一つとして盛り上がり期待されています。当財団でも大河ドラマの放送を契機とした事業を展開し当地域への誘客に努めてまいります。

「元気だよ」の気持ちを込めて、お世話になったあの人に
…そんな時は、浜松・浜名湖を感じられる贈り物を

こだわりカタログギフト 浜名湖だより

浜松・浜名湖の厳選された海の幸、山の幸など45の事業所自慢の逸品、70商品を集めたカタログギフトです。ご贈答、慶事、弔事、各種イベントの景品、記念品など幅広くご利用いただけます。



カタログ取扱店で直接購入

- 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー (ザザシティ浜松中央館5階)
営業時間 9:00～18:00 土日祝・年末年始休み 電話 053-458-0011
- 谷島屋浜松本店 (メイワン8階)
営業時間 10:00～20:00 電話 053-457-4165
他、詳しくはホームページをご覧ください。

FAXで注文

ホームページから申込用紙をダウンロードして
FAXで注文します。

ホームページでは、カタログ
(PDF及びデジタルカタログ)も
ご覧になれます。



詳しくはコチラ▶

はままつ出世マーケットから購入

浜松市公式オンラインアンテナショップ
「はままつ出世マーケット」からも、お買い求め
いただけるようになりました。



詳しくはコチラ▶



広告のご案内 浜松・浜名湖だいすきネット 浜松・浜名湖観光情報サイト



当財団が運営する公式観光情報サイト「浜松・浜名湖だいすきネット」を顧客目線の利便性の高いサイトを目指し運用しております。観光情報だけでなく、地域の事業者様の取り組みや魅力情報の発信を図るため、従来のバナー広告の掲載に加え、実際に地域の観光関係者様を始めとする事業者様へ取材をし、記事広告としてホームページ内への掲載を行っています。

広告の制作と費用について

実際に制作スタッフが取材をさせていただき記事を作成いたします。また、制作した記事及び動画はSNSにて発信をさせていただきます。

【スチール撮影及び記事作成】

1記事:2,000文字、画像:10点

※記事の掲載期間は3年間とします。
※海の湖HAMANAジェンヌを手配する場合は別途費用が掛かります。(1人11,137円)

| | 非会員 | 賛助会員 |
|----|---------|---------|
| 料金 | 88,000円 | 44,000円 |

【動画撮影】 イメージ等をお伺いし、お見積りいたします。

1動画:165,000円～550,000円

例1

【レポート方式】撮影時間1日

165,000円 (レポーター同行)

例2

【イメージPV方式】撮影時間1日

550,000円 (モデル2名)

【TOPページ下部 バナー広告(既存)】

募集6枠 (PC版サイズ150pixel×60pixel/モバイル版サイズ218pixel×60pixel)

| | 非会員 | 賛助会員 |
|-------|----------|---------|
| 6か月間 | 66,000円 | 33,000円 |
| 12か月間 | 110,000円 | 55,000円 |

※料金は全て税込です。

イベント
施設設営

建設仮設材
レンタル



site 株式会社サイト

東遠営業所

浜松市西区伊左地町2790-1 ☎(053)485-4126(代) 掛川市大坂6369
http://www.your-site.co.jp ☎(0537)72-4129

いつも心を「晴朗」に



社会保険労務士法人 杉浦会

〒430-0901 浜松市中区奥馬4-13-17

TEL(053)469-1000 FAX(053)469-1111

URL http://www.sugiura.net E-mail sr@sugiura.net

●公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー
〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町100-1 ザザシティ浜松中央館5F TEL.053-458-0011

●浜松市観光インフォメーションセンター
JR 浜松駅構内 TEL.053-452-1634 FAX.053-413-5920



新任のごあいさつ



たけうち やすし
竹内 靖

このたび、4月1日付で理事・事業本部長に着任いたしました、竹内靖と申します。出身は兵庫県神戸市、前任は愛媛県西条市の観光地域づくり法人「ソラヤマいしづち」常務執行役、その前は徳島県南部1市4町で構成する観光地域づくり法人「四国の右下観光局」の事務局長・営業本部長をやっておりました。主な趣味は音楽演奏(合唱)、食べ歩き飲み歩き、スポーツ観戦です。周りからは鉄分が多め(鉄ヲタ?)とも言われます。浜松はもちろんのこと、東海地方に住むのが初めての経験です。私自身が音楽が好きなので、音楽の聖地としての浜松の魅力発信、さらに食いしん坊なので浜松パワーフードにも積極的に関わりたいと思っています。様々な切り口から、お客様をたくさんお迎えして、浜松・浜名湖地域の発展に寄与したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



まつい たけのり
松井 文典

静岡銀行からまいりました松井文典です。どうぞよろしくお願いいたします。日頃は、15年近く子供会のスポーツチームのコーチ業にたずさわりながら地域ぐるみの子育てのお手伝いをして楽しんでいます。静岡銀行では、地方創生に関する部署やグループのベンチャーキャピタル会社・コンサルティング会社で、お客さまのご支援をまいりました。このたび、浜松で生まれ育った私が、こうして浜松の魅力を発信する仕事に関わる機会をいただき、うれしく思います。また、縁あって浜松商工会議所やまちなかにぎわい協議会へ出向し、お世話になったこともあり、いろいろな方々と再び顔を合わせる機会をいただき、ご支援いただけることに感謝しています。浜松・浜名湖ツーリズムビューローでの新しい出会いにワクワクしながら、皆様と一緒に浜松・浜名湖の魅力を私自身、再発見していきたいと思っております。



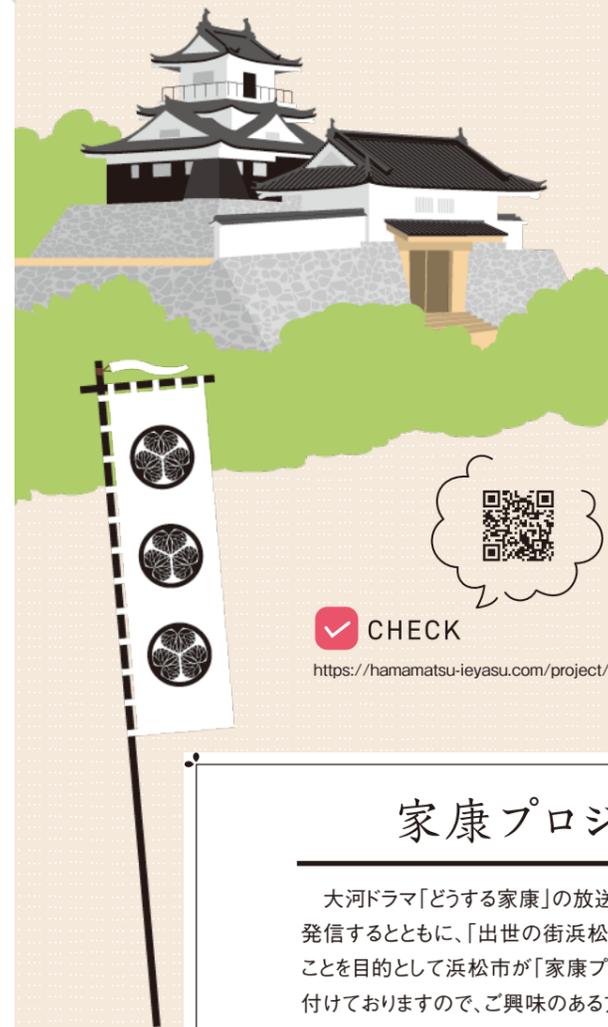
さくらい じゅん
櫻井 純

浜松市役所からまいりました櫻井純と申します。趣味はキャンプです。以前は料理に凝って丸鶏のローストチキンなどを作っていました。それも面倒になり最近ではそうめんが簡単に済ませて、温泉&焚き火を囲む時間を愉しむようになってきました。焚き火の癒し力って不思議ですね。さて私は浜松で生まれ育ちましたが温かい人柄やキャンプ場がたくさんある豊かな自然が大好きです。うなぎ、餃子、みかんなどの食文化だけでなく楽器、自動車などの産業としても有名な浜松・浜名湖エリア。これらの魅力的な資源以外にも新たな魅力を発見し、県内外の方々々に体感して楽しんでもらえるように努めてまいります。



なつめ みき
夏目 実季

湖西市役所からまいりました夏目実季と申します。生まれも育ちも湖西市で、小さい頃から父のバイクの後ろに乗り、浜名湖1周するのが大好きでした。趣味は銭湯や温泉に入ること、よくサウナで体がととのうといいますが、私の場合は湯舟で「ととのう」をしています。さて、観光事業に携わるのは初めてで日々勉強の毎日ですが、自分の生まれ育った湖西を含め、大好きな浜名湖地域の魅力を伝えられる仕事は非常にやりがいのあるものだと感じております。今後もこの地域にとってなにか大切であるかを考えながら、先輩方を見習い、少しでもお役にたてるよう精進してまいります。至らない点も多いかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



CHECK
<https://hamamatsu-ieyasu.com/project/>



家康プロジェクト推進協議会について

大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機に、徳川家康公ゆかりの地である浜松の歴史・文化を全国に情報発信するとともに、「出世の街浜松」のブランドを確立することで、観光振興による地域経済の活性化を図ることを目的として浜松市が「家康プロジェクト推進協議会」を設立しました。推進協議会では入会を随時受け付けておりますので、ご興味のある方は入会をご検討ください。

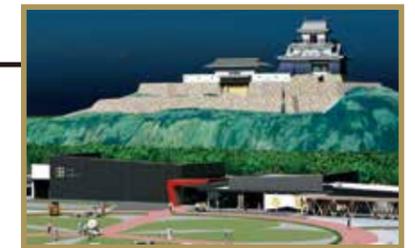
4つの分科会

協議会では官民一体となった事業推進を図るため、分野別に「誘客宣伝」「食」「街なか」「交通輸送」の4つの分科会を設けています。このうち、当財団では「誘客宣伝」分科会の会長として当地域の観光振興と地域経済の活性化を図っています。誘客宣伝分科会では、事務局である浜松市が中心となり現在BtoB向けとして旅行代理店やメディア向けの説明会実施の調整、旅行商品造成支援の検討等を実施しています。また、BtoC向けとしては県をまたいだ広域周遊促進事業や来訪者向けツールの製作等を実施しています。当財団でも来年の大河ドラマ放送に向けて関係機関等と連携を図りながら各種事業を進めてまいります。

大河ドラマ館について



大河ドラマ誘客の核となる大河ドラマ館は浜松城に隣接する旧元城小学校敷地に設置されます。来年のオープンに向けて現在工事が進んでいます。展示内容については未定ですが、他の大河ドラマ館の事例ではドラマのロケで使われたものの展示や映像コンテンツ等の展示が行われています。今後、来年に向けて前売り券販売等も開始されますので、ぜひHPやSNSで最新情報を確認してみてください。



徳川家康公ゆかりの地
出世の街 浜松
CHECK
<https://hamamatsu-ieyasu.com/>



Twitter
「徳川家康公ゆかりの地」浜松
～出世日記～



https://twitter.com/ieyasu_hama



Wave



浜松・浜名湖地域に新しい波(New Wave)を、大きな波(Big Wave)を起こそうと奮闘する方を、当財団COOとの対談形式でご紹介するコーナー。

第9回のお相手は、「天浜線」と呼ばれ親しまれている、天竜浜名湖鉄道株式会社代表取締役の松井宜正さん。対談をしたこの日は、一般財団法人アニメツーリズム協会「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」の2022年版で浜松市が選定され、認定プレートと御朱印スタンプの贈呈式が行われた日でした。贈呈式は選定理由となったアニメの代表的なモデル地、市内2カ所で開催されました。その贈呈式会場の1カ所が、『ゆるキャン△』、『エヴァンゲリオン』シリーズの代表的なモデル地としてとりあげられた天浜線の天竜二俣駅。贈呈式終了直後、興奮冷めやらないまま社長室へおじゃましての対談となりました。まさに「今をときめく天浜線」ですが、国鉄二俣線として全線開業したのは1940年。実に80年以上の歴史のある鉄道でもあります。この古くて新しい天浜線。どんなお話が聞けるか、どきどきわくわく気分いっぱいでの対談、スタートです!!

竹内 これまでの経歴等をお聞かせください。

松井 浜松生まれ浜松育ちで、仕事はまず、静岡県県庁に入りました。県庁では様々な分野に携わってきたのですが、この職に着く前は、税に関係する部署に8年半在籍していました。そこでは主に税収算定といって県の予算を編成するため、どのくらいの税収があるかと算定をする業務をしていました。2020年12月、前任の社長の退任に伴って、急遽こちらでお世話になることになり、今に至っています。

竹内 社長に就任された頃は、コロナ真っ只中という感じでしたね。

松井 就任した年の春先から、学校が休校になったり、会社もテレワークになったりして、本当に直接打撃を受けた年でした。その年は旅客収入が前年から3割減でしたから、一番厳しい時の就任でした。その翌年の2021年は、若干持ち直して2019年の約2割減でした。現在はだいぶ戻ってきてはいますが、今まで通りとはまだ言えない状況です。定期券利用のお客様について言えば、通学はコロナ禍前近くに戻ってきています。ただ、少子化の流れを考慮すると、長期的には減少するものと

考えています。また、通勤についてはまだ戻りきれていない状況です。というのも、テレワークの浸透やコロナ禍を機に通勤手段を変更し、そのまま定着してしまった方がいらっしゃるというのが原因ではないかと思っています。そうすると伸ばして行くべき旅客収入というのは、やはり観光として利用してくださるお客様、これを中心に取込んでいけるかが、これからの収入確保のための課題であると認識しています。

たくさんのお客様に乗っていただくために

竹内 最近はアニメやアイドルといった人気のコンテンツを活用した取組みが話題に上がっていますよね。

松井 旅客収入以外の収入、たとえばグッズ販売等については「エヴァンゲリオン」であるとか『ゆるキャン△』などのブームもあって、2021年は前年と比べて177.0%でした。2020年も前年比で352.0%でしたから2年連続で大幅に伸びています。コロナ禍にあって追い風になってくれたと思っています。収入のみならず、こういった取組みが天浜線を

知っていただくきっかけになってくれた、ということでもあると思います。ぜひ天浜線に乗ってみようという人が、コロナの収束と共に増えてくれることを期待しています。

竹内 お客様への訴求についての取組みはいかがですか？

松井 ホームページやSNSの活用はもちろん行なっていますが、特に力を入れているのは、パブリシティです。報道機関の皆様積極的に情報提供を行い、メディアを通じて広く情報発信していただけるように努めています。テレビやラジオ、新聞で取り上げていただいた時の影響はすごく大きいものと実感しています。

竹内 報道機関への情報提供にあたっては、専門チームがあるのですか？

松井 特にありません。着任後、私の方から報道機関の皆様とできるだけ接点を持ち、良好な関係づくりがまず大事だと思ったのです。資料を作り、届けて、あとは報道機関の方に来てくださるのを待つ…のではなく、情報を直接届け説明したほうが思いが通じるのではないかと思います。地味な取組みではあり

天竜浜名湖鉄道
代表取締役社長

松井 宜正

Yoshimasa Matsui

<プロフィール>

1964年静岡県浜松市生まれ。静岡県職員を経て、新型コロナウイルス感染症の影響により、旅客収入が低迷する中、2020年12月、天竜浜名湖鉄道株式会社代表取締役社長に就任。ウィズコロナ、アフターコロナに向け、新たな視点で収入確保に取り組んでいる。



ますが、おかげさまで昨年度は200件ほど、取り上げていただきました。2日に1回以上ということですね。積極的かつタイムリーな情報提供が、結局はお客様に乗りに来ていただく第一歩なのではないかと思っています。

天浜線の魅力

竹内 松井社長が感じる天浜線の魅力とはなんですか？

松井 うちのいいところは「古いところ」なんです。ちょっとカッコいい言い方をすると「昭和の香りが残っているところ」とでも言いたいですね。この雰囲気は維持していきたいですね。国の登録有形文化財が全部で36件ありますので、もちろんそういったものはしっかりと残していかなければいけないし、それ以外の部分も最新のものに改修したりしてしまうと、天浜線としての魅力が低下してしまう気があります。風景、施設、列車全てバランスよく残していきたいと考えています。

竹内 先日転車台ツアーに参加させていただきました。楽しく素晴らしい取組みですね。

松井 転車台ツアーは、2009年から始めていまして、参加者が直近は年間7,000人台で推移していたのですが、昨年はアニメの効果もあって15,927人にまで伸び、最高人数を記録しました。

竹内 鳥取県の若狭鉄道では転車台を手動で押す取組みがあるようです。天浜線でもいかがですか？

松井 きつとすごく重いんじゃないかと思いますが(笑)。でも、さらに特別感が加わっていいですね。もっと魅力的になるよう、いろいろな工夫をしていきたいと考えています。

これからの天浜線

松井 今までは「鉄道ファン」がお客様のメインでした。そして先ほど触れましたように、ここ数年で新たに「アニメファン」の方も加わって、さらに最近は縁があって実現したAKB48とのコラボによりアイドルのファンの皆様にも知ってもらえる機会をいただきました。ぜひ色々な幅広い層に知ってもらい利用してもらうことにつながってほしいと思っています。

竹内 全国への発信で幅広く知っていただくとともに、あらためて地元の皆さんにも、この魅力的な素晴らしい財産があるということを再発見してほしいですね。

松井 年に2回ほど全社員に経営方針説明

をしているのですが、そこで必ず言っていることがあります。まず「安全」ということが第一であること。その上で大切なこととして、天浜線の存在を地域の振興につなげて行くのだということをお客様に必ず意識してほしいということです。地域振興が深まれば地域経済向上につながるし、地域住民や行政から理解や支援が得られるようになる。天浜線が地域になくはならない存在になるようにしていかなければならないのだということを伝えていきます。現在推進している取組みの一つに「天浜線沿線域内連携推進事業」があります。天浜線は6市町をつないで走っています。どの市町も素晴らしい特産物や自然などの資源があるのですが、コロナ禍の影響もあって、その素晴らしい資源が観光につながりきれていない。そこで今年1月、それらの資源を個々にPRする大使「天浜沿線盛り上げ大使」を14名で立ち上げ、連携していく仕組みをつくり、まず結団式を行なってマルシェも同時開催しました。もちろん、天浜線に乗ってマルシェに出かけていただくということも狙ってはいますが、何よりも天浜線の存在が、地域をつなぎ、振興につながるということを意識して取組んでいます。正直言って収益になる取組みではないのではないかとこの声も確かにありました。でもこれはやらなくてはならないことなのだと思います。全社を挙げて一生懸命力を入れて取り組んでいきます。

竹内 地域での存在感が高まれば、「天浜線ファン」も増えますよね。私は広島にいたことも



あるのですが、広島市内の小学生の男子に将来の夢をたずねると、その7割近くが「広電(広島電鉄)の運転手・車掌さんになりたい」なんです。普段から毎日のように乗って、運転手さんたちのカッコいい姿を見ているからのだそうです。広島カープの選手になりたいという子も多いですが(笑)こういった若いファンも増えるといいですね。

松井 たしかに。「天浜線の運転手になりたい」という「天浜線ファン」の子供が少しでも増えるように、もっともっとがんばらなきゃですね(笑)。

【対談を終えての竹内COOの感想】

松井社長の「うちのいいところは古いところ」と言い切る姿が特に印象的でした。私もおかねいろいろな事業所様にお伺いして、経営者の方々が「古いから」と言うのがネガティブな印象を受けることが多かったのです。それをあえてストロングポイントとしてアピールしてもらった。そこにはある種の「カッコよさ」が見えました。それと報道各社様への対応姿勢、対面を基本とした地道な人脈づくり、私も見習わなくてはならないと改めて認識しました。皆さんも久しぶりに天浜線乗ってみませんか？

「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」認定プレートと共に記念写真

ぜひ Checkを!

楽しい催しなど
イチオシ情報満載です。

<https://www.tenhamaco.jp>

Topics

令和4年度MICE開催が順調に推移

長期に及ぶオンラインを中心としたコンベンション開催は、令和4年度からハイブリッド形態を含む現地開催が再開され、MICE主催者からの開催相談などが戻って参りました。また、新たに海外の国際会議主催者・関係者へ訴求したWEBを公開いたしました。

新たに英語サイト開設



<https://mice-hamamatsu.jp/en/index.html>



最新のコンベンション開催情報は、MICE WEBサイトのTOPICSにてご確認ください。



Topics

浜松・浜名湖 ちょい旅ガイド

当財団が運営している体験型観光プログラム予約サイトの「浜松・浜名湖ちょい旅ガイド」では掲載プログラムを随時募集しています。サイトにプログラム案内のみ掲載し、予約は自社で受け付ける等掲載方法は柔軟に対応できますので、ご興味のある方は当財団「ちょい旅担当」までご連絡ください。



<https://hamamatsu-daisuki.net/hamanako-choitabi/>

2021年度の予約人気ランキング

- 1 伝統の“浜松注染そめ”による手ぬぐいづくり体験! (二橋染工場)
- 2 かしまハーベスト~土耕栽培いちご狩り体験~ (かしまハーベスト)
- 3 浜名湖特産!うなぎつかみ取り&蒲焼き体験! (今切体験の里 海湖館)
- 4 浜名湖の真ん中で愛を叫ぶ! (自主商品)



観光資源の多言語化を進めるため、英語化に続き中国語(繁体字・簡体字)の解説文を作成しました。アフターコロナを見据え、訪日外国人の方にも浜松・浜名湖エリアの花の魅力を発信し、日本の風物詩として親んでもらい感動していただけたらと思っています。



Center of Japanese flower and garden tourism

浜名湖園芸情報



簡体字



繁体字



浜名湖花フェスタ2022開催

3月19日(土)から6月12日(日)まで浜名湖花フェスタ2022が開催されました。浜名湖周辺の花の名所や観光施設など見どころいっぱいの47施設が一体となって、訪れた人の目を楽しませてくれました。イベントは終了しましたがまだまだ移り変わる花と一緒に季節の訪れを感じていただけますので、是非お越しください。



<https://hamamatsu-daisuki.net/flowerfestival/>



今年度も都田川の清掃活動を実施します



地域の特色ある観光資源としての景観保護を目的として、今年度も都田川の河川敷にて清掃活動を行います。この都田川の清掃は、令和元年度に当財団の浜名湖観光圏「海の湖カレッジワーキンググループ」で開始いたしました。浜名湖に繋がる都田川の自然環境を維持することだけでなく、浜名湖サイクリングのモデルコースとして景観保護の観点からも、当事業の重要性が高まっており、地域の事業者とも連携して取り組んでいきます。

浜松市公式オンラインアンテナショップ 「はままつ出世マーケット」

浜松市公式オンラインアンテナショップとして、浜松市と浜松・浜名湖物産振興協議会が共同で昨年10月に楽天市場にオープンした「はままつ出世マーケット」(運営:株ヤタロー)。145事業所、538商品(2022年7月現在)もの魅力的な浜松市の地場産品を多数取り揃えて皆様のご利用をお待ちしております。さらに、複数事業者が製品を寄せ合って作る出世マーケットオリジナルのコラボ企画「はまてばこ」も大好評!ぜひ一度、のぞいてみてください。



<https://www.rakuten.ne.jp/gold/shussemarket-hamamatsu/>



はままつ出世マーケット運営事務局では、取扱商品を随時募集しています。詳しくはこちらをご覧ください。▶▶▶

